

普及現地情報



発信年月日:令和6年(2024年)8月28日

所属名:湖東農産普及課

番号:F24012

発信者名:川村智、宇野、忠谷

昇温抑制技術研修会の開催

令和6年7月31日に、簡易ミスト散水による昇温抑制技術の普及を目的に現地研修会を開催しました。参加者14名は、導入にかかるコストや育苗ほ場のイチゴ苗の生育状況を確認し、複数の昇温抑制技術を組み合わせさせた効果について理解を深めました。

近年、夏期のハウス内は植物の生育限界を超える温度になっており、特に7~8月の高温対策が喫緊の課題となっています。過去にスマート農業実証を行い、管内でも簡易ミスト散水による昇温抑制技術の導入が広まりつつありますが、コストが高値で導入をためらう生産者が少なくありません。

そこで、研修会では導入にかかるコストや技術導入後の生育、昇温抑制技術を中心に説明しました。300㎡のハウスに簡易ミストを導入した場合のコストは約1万5千円/年(減価償却7年)であること、技術導入後の生育は三郎苗が8月上旬に受けられる状態となり苗質が良好なこと、簡易ミストに循環扇を組み合わせることで昇温抑制効果を高めることが周知できました。

実証生産者からは「圧倒的なローコストで昇温抑制が出来るので導入するべきだと思う。イチゴ苗が確保できない場合の損失の方が大きいので、速やかに導入することをお勧めする」との意見をいただきました。

今後も夏場の暑さは続くため有効な技術や対策について管内園芸生産者へ発信するとともに、技術導入により生産者の経営改善が図れるよう支援していきます。



ハウス内での簡易ミスト散水可動時の様子